



# 朝日講座

連続講座 1



2016年8月13日(土) 13:30～  
愛知県陶磁美術館本館展示説明室  
埋蔵文化財展「弥生への旅 朝日遺跡」

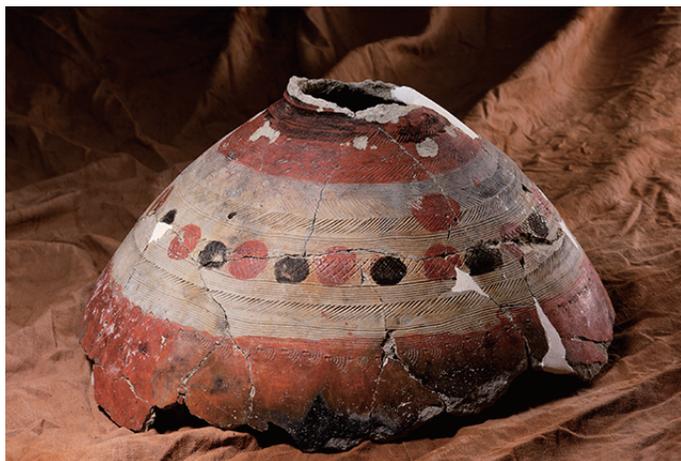
## 朝日遺跡の“色使い”

堀木真美子(愛知県埋蔵文化財センター)  
宮腰健司(愛知県埋蔵文化財センター センター長)

キーワード：弥生時代、赤、黒、ガラス玉

朝日遺跡からは、たくさんの遺物が出土しています。さて、色に注目した場合、遺物の中かから何色を見つけることができるでしょうか？今回は、その遺物たちの”色”に注目します。朝日遺跡といえばやはり、赤いパレススタイル土器ですね。このパレススタイル土器は、白地の胎土に赤色で模様をつけています。また黒い土器もあります。木製品では、楯や竪櫛に赤と黒で三角形の模様がつけられています。赤や黒はすぐに見つかりますね。しかし朝日遺跡では、土器や木製品のほかに、数多くの金属器やガラス玉、石製品もみつっています。これらの色を思い描くと、赤や黒以外に、黄や青、緑、金がみえてきます。

今回は弥生の人たちをとりまく色と化学分析の成果をお話しします。



次回は8月27日(土)「朝日遺跡“総集編”」石黒立人

お問い合わせ先

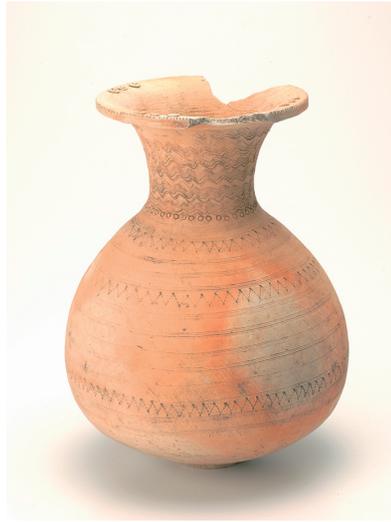


公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団  
愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24  
Tel. 0567-67-4163 Fax. 0567-67-3054  
<http://www.maibun.com/top/>



\*\* 黒い土器 / 普通の土器 / 赤い土器

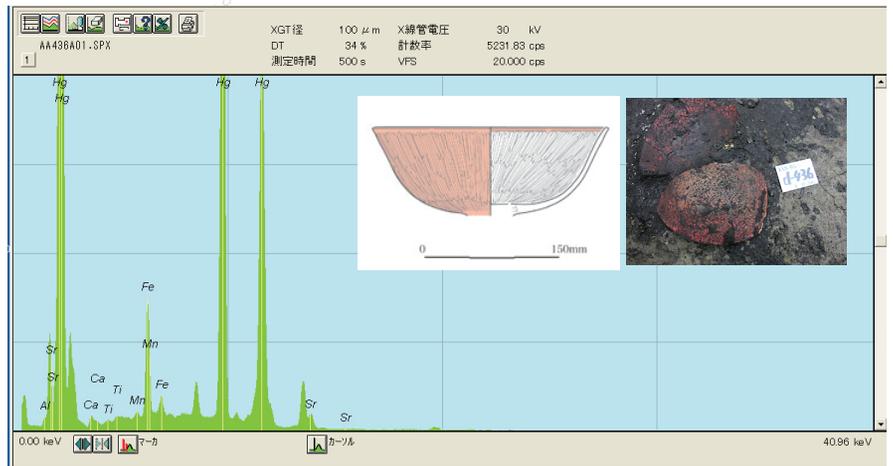
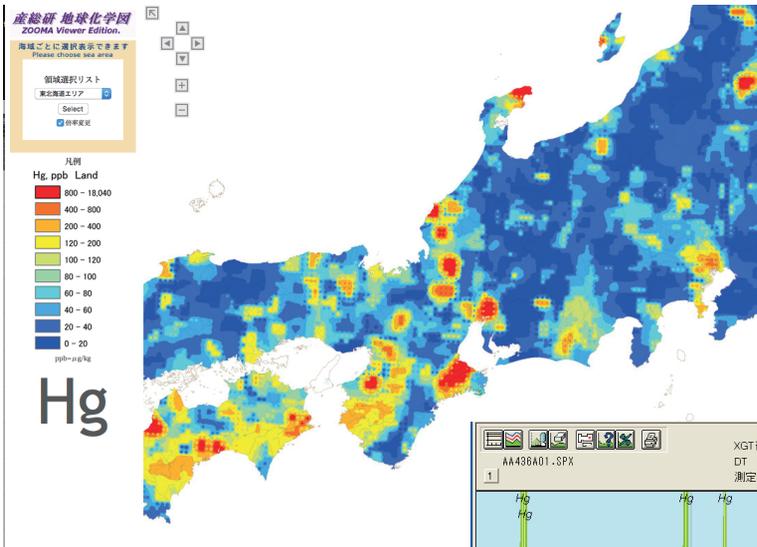
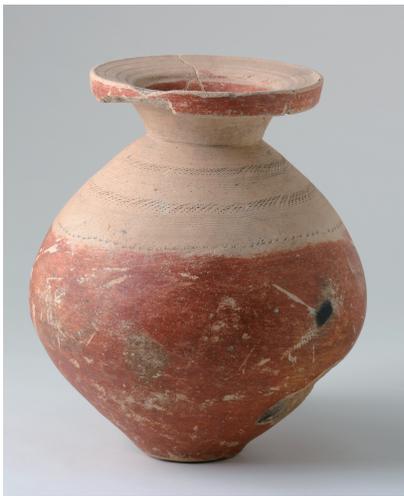
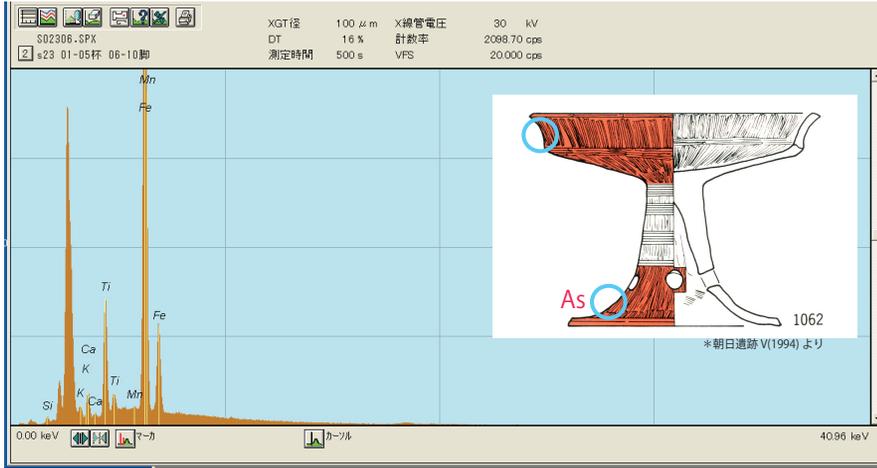


\*\* 赤い顔料 / 黒い顔料

\*\* 金属の輝き



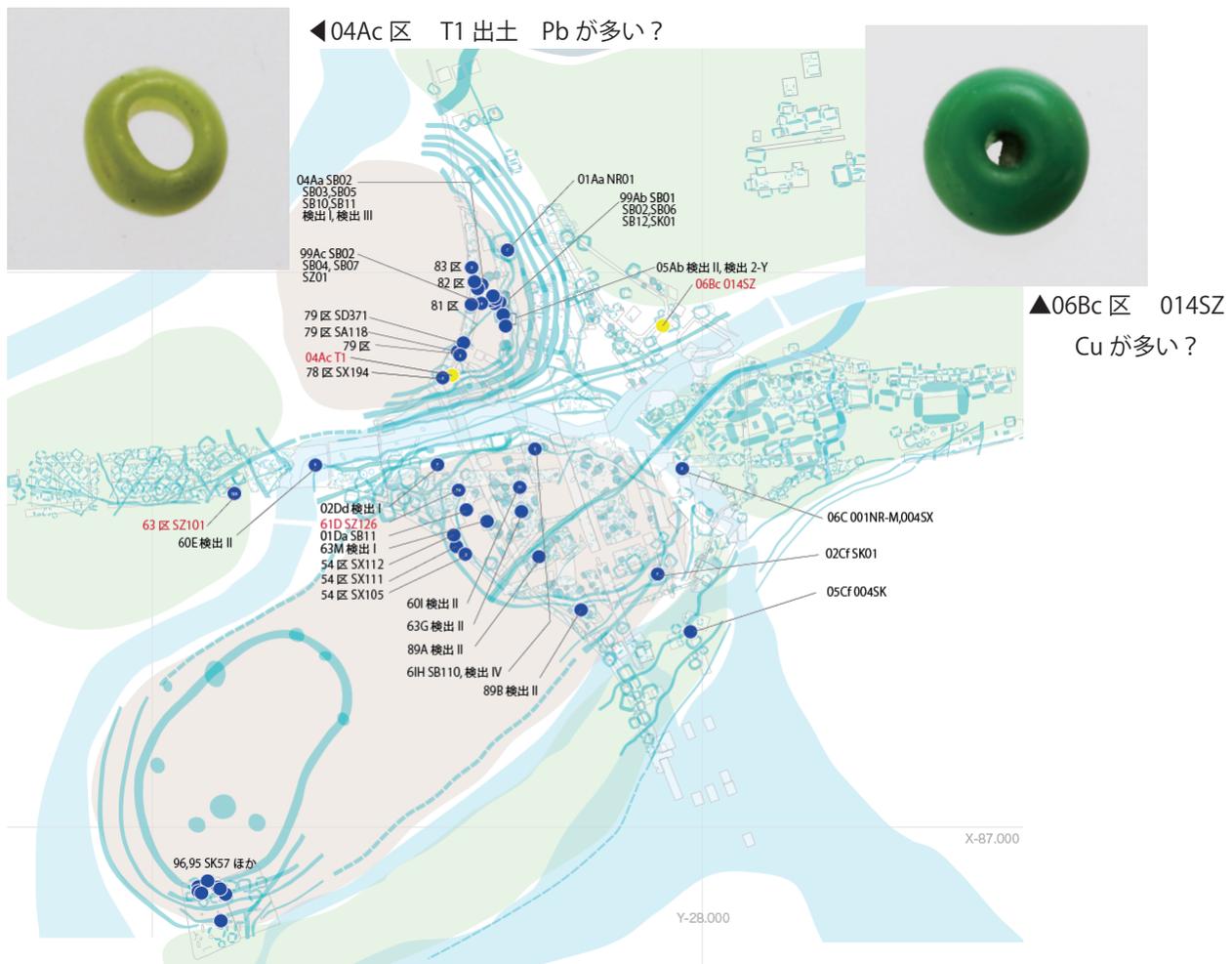
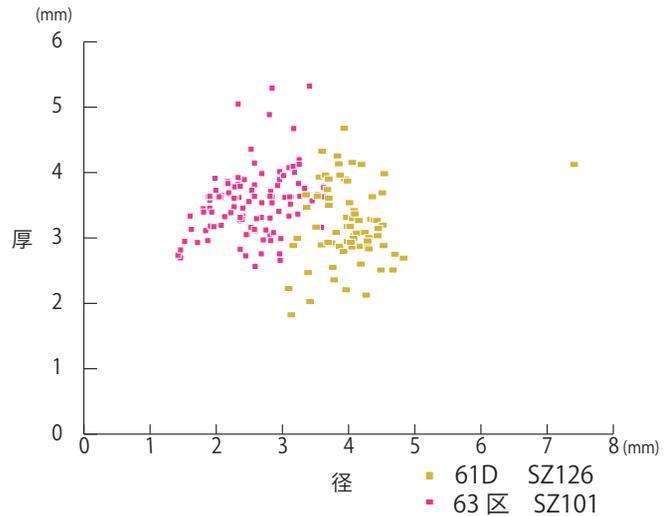
# \*\* 赤色顔料の分析



## \*\*水色のガラス玉分析



- 朝日遺跡出土のガラス玉は、カリガラス。
- 水色と紺色の違いは化学組成の違い。  
水色→Cuが多い 紺色→Mn,Coが多い



## \*\*各時代のガラス玉の化学組成

	Na <sub>2</sub> O	MgO	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	SiO <sub>2</sub>	K <sub>2</sub> O	CaO	TiO <sub>2</sub>	MnO	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	CoO	CuO	PbO	試料数
朝日遺跡	5.4	0.1	3.9	75.7	11.5	0.7	0.2	0.0	0.6	0.0	1.4	0.5	33/38
	6.8	0.6	1.2	74.0	11.4	1.6	0.3	2.0	1.9	0.1	0.0	0.0	5/38
鳥帽子遺跡	22.6	3.1	2.4	64.9	1.2	3.9	0.2	0.1	1.2	0.0	0.1	0.1	18/28
古墳時代前期	20.4	0.7	7.7	64.9	1.7	1.9	0.5	0.1	1.1	0.0	0.6	0.3	8/28
	2.4	0.5	2.1	82.5	8.2	1.2	0.2	1.3	1.6	0.0	0.0	0.0	2/28
荒山古墳	17.7	3.0	4.4	67.8	1.4	4.1	0.1	0.1	1.0	0.0	0.1	0.1	48/68
古墳時代後期	19.4	0.2	7.9	67.2	1.2	2.2	0.4	0.1	0.9	0.0	0.4	0.1	10/68
	0.6	0.3	2.9	82.6	10.3	1.0	0.2	1.0	0.8	0.0	0.0	0.0	3/68